夢トーク65　将来の夢は「保育士」

稲田（いなだ）　遥　さん
（江刺区・伊手小学校６年）

Interview

――学校での役割は？

計画委員会の委員長です。月１回の児童朝会でのレクリエーションやあいさつ運動、学校をよりよくするための目標を立てることに取り組んでいます。

――小学校生活の思い出は？

修学旅行で遊園地に行ったことです。初めて乗ったジェットコースターが楽しかったです。３種類すべて乗りました。

――好きなことはなんですか？

体を動かすことです。３歳から父に習って水泳とスキーを、３年生からはスポーツ少年団でミニバスケットをやっています。

――中学校へ進学したら、やってみたいことはありますか？

バスケットボール部に入りたいです。

――将来の夢を教えてください。

保育士です。保育園に通っていて、先生の姿に憧れました。小さい子が好きなので、楽しく遊んであげたいです。

――夢を叶えるために、頑張っていることは何ですか？

縦割り班清掃で１年生のお世話をするなど、小さい子の面倒を見るようにしています。

中高生の部活動や委員会活動を紹介

青春讃歌29

江刺第一中学校 生徒会執行部

◎役員数　19人
◎顧問　藤原　裕己 先生
◎会長　及川　勝太郎 君（２年）

先輩たちに感謝を　新たな一歩を踏み出すとき

昨年 12 月から、新体制を発足させた江刺第一中学校生徒会執行部。２年生 16 人、１年生３人からなる 19 人の役員たちは、常に全校の手本となることを心掛けながら、「結束 ―― みんなで踏み出す新たな一歩 ――」をスローガンに活動しています。

執行部の主な役割は、全体集会の進行や学校行事の企画運営。中でも、体育祭、文化祭、巣立ちの会の３つは大きなイベントです。及川会長は「皆まじめだが、言われた仕事をきちんとこなすだけでなく、新しい発想もできる柔軟性がある。リーダーとして楽しくまとめていきたい」と仲間への信頼と意気込みを語ります。「自ら課題を見付け、自主的に行動できている。将来、生徒会の一員であったことを誇れるように活動してほしい」と顧問の藤原先生も温かく見守ります。

２月 10 日の巣立ちの会は、新執行部が最初に迎える三大行事。３年生への感謝の思いを込めた振り付きの替え歌を、各クラスへと捧げます。及川会長は「３年生から伝統などを引き継ぎ、１・２年生が団結して取り組みたい」と目標を語りました。

今後は、より地域と交流したいという及川会長。文化祭や授業見学のときには、保護者以外の地域の人にも来てほしいと願います。生徒会執行部では、先輩たちの取り組みを参考にしつつ、新しい挑戦に燃えています。

行事の成功へ向けて、打ち合わせにも熱が入ります

◉どんなときも一緒の素敵な夫婦を紹介

雨の日も晴れの日も29

熊谷（くまがい）　翼（たすく）　さん（25）
美　里　さん（25）

＝衣川区夏梨＝

昨年９月に長女の瑠乃ちゃんが生まれ、幸せいっぱいの熊谷夫妻。衣川区で肉牛を生産する若い農業者です。

二人の出会いは、厄年連。友人に誘われた翼さんが、前沢の活動に参加したのがきっかけでした。当時、厄年連の副会長を務めていた美里さん、翼さんの第一印象は「まじめそう」でした。「家での農作業ばかりだったので、よそでの作業が楽しくよく参加していた。副会長はおっかなかったな」と翼さんは笑います。

付き合い始めから結婚を意識していたという二人ですが、翼さんからのプロポーズに思わず笑ってしまったという美里さん。「結婚の申し込みが思っていたよりずっと早かったんです」

現在、牛は繁殖・肥育合わせて135頭を飼育中。結婚前まで農業への関心が薄かったという美里さんも大事な戦力です。「農業に抵抗がなくてうれしかった」と翼さん。家族みんなに手伝ってもらいながら「奥州牛を多くの人に知ってもらいたい」と日々頑張っています。

子育てでも奮闘中の二人は「子どもにも牛を好きになってほしい」と夢を語ります。優しいイクメンだという翼さんは「これからもいいパパでいてください」という美里さんのお願いに、笑顔で応えていました。

おうしゅう Oshu 羅針盤

「日本一泣ける成人式」として全国的に有名な本市の成人式。恒例の「家族からの手紙」では、想い出の写真をスクリーンに写し、バイオリンの生演奏が雰囲気を盛り上げる中、サプライズで壇上に上がったご家族から新成人へ、心温まる手紙が披露されました。ことしのテーマは「道」。新成人の皆さんには、今まで見守り育てていただいたご家族への感謝を刻み、新たな未来への「道」に向かって、思い切りジャンプしていただきたいと心から願っています。

１月末に開催された奥州市民☆文士劇「宮本武蔵―剣の道　恋の道―」に出演させていただきました。自己流で力の道を求めた武蔵が、人との出会いから人間的な成長を果たし、剣の道を極めようとする姿や、市民劇のレベルを超えた熱のこもった演技に、会場に足を運ばれた皆さんが感動されていました。出演者、関係者の皆さん、地域に元気を発信いただき、ありがとうございました。

奥州市長　小沢昌記